

## 2020 年度実施概要

学校名

新居浜市立泉川中学校

採択活動名

海の恵みで発展してきたふるさとを学ぶ～多喜浜塩田を未来に伝えよう～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 「つながり」について	1 年	総合
2. 「レジ袋有料化」の義務化開始から考える	2 年	学活
3. 環境美化活動	3 年	総合

取り組みの概要

**1 活動のねらい**

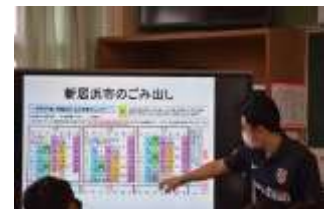
泉川中学校は地域との結び付きが大変強く、以前より様々な形で地域の方々と共に学習活動を展開し、「地域とともにある学校づくり」の推進に取り組んでいる。これまで地域とともに協働して行ってきた、校区にある国道バイパスの花壇の世話、地域のごみ拾い等の環境整備や資源回収などを ESD の観点から見つめ直し、海や地域の環境を守り、次世代へ伝承していこうとする意欲と実践力を育むことが本活動のねらいである。

**2 実施内容****(1) 1 年生の取組****ア 新居浜工業高等専門学校の出前授業**

『「つながり」について』と題して、自分たちの行為が、未来の地球にどのように影響していくかを考える内容で、講演していただいた。

**イ ごみの分別についての学習**

講演の後、「地球環境を守るために、今日からできることはないだろうか」と問いかけたところ、「ごみを拾う」と答えた生徒が半数以上いた。そこで、市役所ごみ減量課に協力していただき、新居浜市のごみ出しのルールと、ごみの分別について確認した。きちんと分別を行うことで「ごみ」ではなく「資源」となることを意識させた。家庭でも分別してごみ捨てを行っているが、新たな発見や驚きがあったようだ。

**(2) 2 年生の取組****ア 「レジ袋有料化」の義務化開始から考える (学年集会)**

令和 2 年 7 月 1 日から「レジ袋有料化」の義務化が全国で実施されたことを受け、SDGs の 17 項目の中の「14 海の豊かさを守ろう」という視点から、環境問題に対して、私たちができることは何かについて考えを深める学年集会を実施し、身近なところから実践しようとする意欲の向上を図った。



世界の取組と日本の取組とを資料をもとに比較し、なぜ有料化する必要があるのか、有料化するだけで海の豊かさは取り戻せるのかを話し合った。海の豊かさを守るためにも、1年時に地域の清掃センターの見学を通して学んだ、ごみの分別や削減へ積極的に取り組んでいくことの大切さについて改めて考える良い機会となった。



### (3) 3年生の取組

#### ア 「家庭でできる実践レポート」の作成と発表会

臨時休業中に一人でできる環境美化をテーマに実践を行い、レポートにまとめた。学級で発表会を行い、様々な環境美化活動を行ったことを共有した。そして、家庭から地域へ、個人からグループへと活動を広げていくためには何ができるかを考えた。



#### イ 環境美化活動

##### (ア) 小グループに分かれての環境美化活動

各自が考えた実践したいことを元に、5つの活動に絞った。(①国道バイパスの草取り、②国道バイパスのごみ拾い、③国道バイパス花壇の花の除去、④神社の清掃、⑤リサイクル用品とポスター製作) 各グループに地域の方も加わり2日間活動を行った。



##### (イ) あいロード美化活動

有志による「大好き泉川の日」で行った「苗植え」から育った花を国道バイパス郷・桧の端線に植える作業を地域の方と共に行った。

##### (ウ) 環境美化活動を終えての学年集会

グループで行った環境実践の様子を写真で振り返り、代表者が自分たちの行った活動の説明や、実践を通して感じたことを発表した。さらに、グループでの活動を新居浜市全体に広げていくための提案を呼び掛けた。実践してから数日後、ごみ拾いをした国道バイパスにはごみが落ちている、草を抜いた花壇にはもう草が伸びてきている画像を見せ、環境美化の活動は、持続していかなければいけないこと、まさにSDGsの目標である「持続可能」な活動にしていかなければいけないことを考えさせた。



#### ウ あいロードの環境保全を呼び掛ける看板づくり

学年集会の発表を受けて、グループでの実践を通して感じたことを元に環境保全を呼び掛ける看板の図案を考えた。選考会を開き、図案候補を決定した。後日、決定した図案をもとに作成した看板を国道バイパスへ設置した。





#### 4 成果と課題

##### (1) 成果

- ・ 生活や地域の課題に目を向け、自らの問題として受け止めて解決に向けて何ができるかを考えることができた。
- ・ ESDの観点から取組を見直すことで、これまで行ってきた環境美化活動が、海や山の環境や社会とのつながりの上で重要なことであることを再確認することができた。

##### (2) 課題

- ・ 海洋教育と生徒が興味・関心のある学習活動をつなげ、魅力ある学習活動を展開することで、生徒の主体性を育て、活動の充実を図っていきたい。
- ・ 取り組む活動が持続可能な開発となるよう見直しを繰り返し、継続したものとなるようにしていきたい。
- ・ SDGsの17項目の関連を意識させ、いろいろな課題とのつながり、人とのつながり、社会とのつながりを考えられる生徒の育成を目指したい。